

【記入例】

別記様式第3号

文書番号がなければ削除  
をお願いします。

番 号  
年 月 日

独立行政法人農畜産業振興機構理事長 殿

所在地

取組主体名

役職 代表者氏名

機構からの交付決定通知書の『発信日付と文書番号』を明記。

令和6年度大規模契約栽培産地育成強化推進事業実績報告書兼精算払請求書

令和6年〇月〇日付け6農畜機第〇〇〇〇号において交付決定のあったこの事業について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3農産第3175号、3畜産第1993号農林水産省農産局長、農林水産省畜産局長通知）別紙2のI-Iの第13の1の（1）に基づき、下記のとおり実績を報告します。

また、下記7の精算額を交付されたく、併せて請求します。

記

1 事業の目的

国産野菜の輸入からのシェア奪還を見据え、国内産が需要に応えきれていない  
加工・業務用のキャベツを安定供給

2 事業の内容

別紙の取組状況のとおり。

3 取組期間：令和6年度～令和8年度

契約期間の終了日又は取組の終了日のいずれか遅い日を記載します。  
ただし、4月以降まで出荷が続く場合は3月31日とします。

4 1年目の事業終了年月日：令和7年3月31日

5 対象品目

対象品目	キャベツ（11月又は1～5月）
用途	加工・業務用

※対象出荷期間が定まっている品目は、品目名の後に対象出荷期間を記載する。

※用途については、加工・業務用又は生食用のいずれかを記載する。

- 6 交付決定額 24,000,000円
- 7 精算払請求額 24,000,000円
- 8 7の積算資料  
事業対象面積 16.0 (ha) ×150万円 (ha) =交付金額 24,000,000円
- 9 振込先  
金融機関名等： ○○銀行 △△支店  
預貯金種別： 当座預金  
口座番号： ○○○○  
アイウエオノウギョウキョウドウクミアイキャベツブカイ  
口座名義 (フリガナ)： あいうえお農業協同組合キャベツ部会  
ブカイチョウ ヤマダタロウ  
部会長 山田太郎

同証明の作成が困難な場合は、出荷実績申告書（出荷伝票に基づく集計表（出荷実績明細書））等を添付願います。

10 添付書類

- (1) 契約の履行実績が確認できる資料の写し（契約相手との荷受証明書等）
- (2) 契約期間が当該年度から翌年度までに及ぶ場合、対象契約の履行が确实であることを証する書類

令和7年4月以降も出荷が継続する場合は。

- (3) 別紙の取組状況が確認できる資料の写し（例：作業日誌の写し及び取組写真、購入伝票の写し等）
- (4) 環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート（交付申請時に提出したチェックシートの報告時の口欄に✓又は■を記入して添付すること）
- (注) 承認された事業実施計画から軽微な変更がある場合、承認された事業実施計画書の写しに変更箇所を加筆修正し添付すること。

交付申請時に提出したチェックシートをそのまま使用

※郵送で申請する場合は、欄外に責任者及び担当者の氏名、連絡先を記載すること。

必要に応じて  
軽微な変更の書類を添付してください。

○○○○組合  
責任者：事務局長 ○○ ○○  
担当者：係長 ○○ ○○  
電話 ○○○-○○○-○○○○  
E-mail：○○○○@△△△△

別紙

1 契約に基づく出荷実績

	実績
契約者名 (実需者、中間事業者)	1. ○○食品 (△△商事) 2. ○○フーズ (△△商事) 3. ○○漬物 (△△商事)
出荷期間 (実績) (契約期間)	令和○年○月○日 ～令和○年○月○日 (令和○年○月○日～令和○年○月○日)
出荷数量又は出荷面積 (t 又は ha) (契約数量又は契約面積)	400.0 t (360.0 t)

- (注) 1. 契約者名欄には、対象契約の相手方を記載する。  
2. 出荷数量又は出荷面積の欄には、契約方法に合わせて出荷数量又は出荷面積のいずれかを記載する。  
3. 数量契約の場合、出荷数量は対象契約に基づく出荷数量の実績を記載する。  
4. **面積契約**の場合、出荷面積は対象契約に基づき出荷したほ場面積の出荷面積の実績を記載する。

**【留意事項】**

面積契約の場合、登録されている全てのほ場からの出荷を確認する必要があります。

確認できない場合は補助金が交付されない場合がありますので、速やかに都道府県法人（経由しない場合は機構）にご相談ください。

①上段は契約履行証明資料等で実際の出荷期間及び出荷実績を記載（面積契約の場合は、haで記載）。

②なお、出荷が令和7年3月末時点において、実績が確定しない（＝年度をまたいで出荷する）場合は、計画と同じ値を記載の上、別途、対象契約の履行が確実であることを証する書類を添付する。

※出荷終了後、履行実績について別途報告が必要です。  
(補助実施要領 別記様式第4号「対象契約履行報告書」)

2 生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡

ほ場での取組は、作業日誌に明示。

対策項目	実績		
	取組内容	取組時期 (年月)	事業ほ場面積 (ha)
a 事業ほ場の設定	〇〇した。	令和〇年〇月～ 令和〇年〇月	16.0 ha
b 実需者等との一定期間の事前 契約の締結	〇〇した。	令和〇年〇月～ 令和〇年〇月	16.0 ha
c 新規作型の導入	〇〇した。	令和〇年〇月～ 令和〇年〇月	16.0 ha
d 生産コストの低減	〇〇した。	令和〇年〇月～ 令和〇年〇月	16.0 ha
e 流通コストの低減	〇〇した。	令和〇年〇月～ 令和〇年〇月	16.0 ha
f トレーサビリティ システム等の活用	〇〇した。	令和〇年〇月～ 令和〇年〇月	16.0 ha
g 出荷量の安定に向けた取組	〇〇した。	令和〇年〇月～ 令和〇年〇月	16.0 ha

- (注) 1. 取組内容欄には、事業実施計画に基づき実施した取組の内容及び使用した資材等を記載する。
2. 取組時期欄には、当該取組が行われた年月を記載する。
3. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積を記載する。
4. 1つの対策項目において、複数の取組を行った場合は、取組内容ごとに記載する。

実績の取組内容欄は、計画の取組どおりに実施できた場合、

「〇〇する」→「〇〇した(できた、等)」と、語尾を過去形にて記載する。

※「努める」は、「努めた」ではなく、「〇〇した(できた、等)」と記載する。

【留意事項】

「別添：2及び3の明細 ほ場内容」から集計した実績を記載してください。

ほ場での取組は、作業日誌に明示。

3 作柄安定技術の導入のための取組

対策項目	実績		
	取組内容	取組時期 (年月)	事業ほ場面積 (ha)
a 土層改良・排水対策	プラウ耕 高畝栽培	令和〇年〇月 ～令和〇年〇月	16.00ha
小計			16.00ha
b 病虫害防除・連作障害回避対策	防虫ネットの活用	令和〇年〇月 ～令和〇年〇月	13.00ha
小計			13.00ha
c 地温安定・保水・風害対策	ダブルマルチ	令和〇年〇月 ～令和〇年〇月	16.00ha
小計			16.00ha
d 土壌改良資材施用	たい肥の施用	令和〇年〇月 ～令和〇年〇月	3.00ha
小計			3.00ha
事業ほ場面積 (実面積)			16.0ha

- (注) 1. 取組内容欄には、事業実施計画に基づき実施した取組の内容及び使用した資材等を記載する。
2. 取組時期欄には、当該取組が行われた年月を記載する。
3. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積を記載する。
4. 1つの対策項目において、複数の取組を行った場合は、取組内容ごとに記載する。
5. 事業ほ場面積（実面積）欄は、小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。

**【留意事項】**

「別添：2及び3の明細 ほ場内容」から集計した実績を記載してください。



- (注) 1. 事業参加農家名欄には、事業実施計画に沿って事業に参加した農家全員をほ場ごとに記載する。(地続きの場合は複数のほ場をまとめて記入することも可)  
また、記載欄が不足する場合、様式に記載欄を追加して記載する又は、別紙において一覧表を作成し添付することも可能とする。
2. 事業ほ場の所在地欄には、番地まで記載する。
  3. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積（小数点第3位を四捨五入し、ha単位で記載する。）を記載する。
  4. 期間中に1つのほ場で対象品目を複数回作付した場合には、ほ場の実面積を記載する。
  5. 事業ほ場面積（実面積）欄には、小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。
  6. 取組の欄は、事業実施計画に基づき、取組内容を簡潔に記載する。

**各個人ごとの事業ほ場面積は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表記。  
事業ほ場面積（実面積）は、小数点第2位を切り捨て、小数点第1位まで表記（四捨五入厳禁）。**

**【留意事項】**

- ・記載欄が足りない場合は適宜追加してください。
- ・1ほ場のデータの途中で改行されることのないよう、適宜、改ページをお願いします。

交付申請時に提出したチェックシートをそのまま使用し、「報告時(しました)」の□欄に記入してください。

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート

氏名 \_\_\_\_\_

	申請時 (します)	(1) 適正な施肥	報告時 (しました)
①	<input checked="" type="checkbox"/>	肥料の適正な保管	<input checked="" type="checkbox"/>
②	<input checked="" type="checkbox"/>	肥料の使用状況等の記録・保存に努める	<input checked="" type="checkbox"/>
③	<input checked="" type="checkbox"/>	作物特性やデータに基づく施肥設計を検討	<input checked="" type="checkbox"/>
④	<input checked="" type="checkbox"/>	有機物の適正な施用による土づくりを検討	<input checked="" type="checkbox"/>

	申請時 (します)	(2) 適正な防除	報告時 (しました)
⑤	<input checked="" type="checkbox"/>	農薬の適正な使用・保管	<input checked="" type="checkbox"/>
⑥	<input checked="" type="checkbox"/>	農薬の使用状況等の記録・保存	<input checked="" type="checkbox"/>
⑦	<input checked="" type="checkbox"/>	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める	<input checked="" type="checkbox"/>
⑧	<input checked="" type="checkbox"/>	病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討	<input checked="" type="checkbox"/>
⑨	<input checked="" type="checkbox"/>	多様な防除方法(防除資材、使用方法)を活用した防除を検討	<input checked="" type="checkbox"/>

	申請時 (します)	(3) エネルギーの節減	報告時 (しました)
⑩	<input checked="" type="checkbox"/>	農機、ハウス等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める	<input checked="" type="checkbox"/>
⑪	<input checked="" type="checkbox"/>	省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める	<input checked="" type="checkbox"/>

	申請時 (します)	(4) 悪臭及び害虫の発生防止	報告時 (しました)
⑫	<input checked="" type="checkbox"/>	悪臭及び害虫の発生防止・低減に努める	<input checked="" type="checkbox"/>

	申請時 (します)	(5) 廃棄物の発生抑制、 適正な循環的な利用及び適正な処分	報告時 (しました)
⑬	<input checked="" type="checkbox"/>	プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理	<input checked="" type="checkbox"/>

	申請時 (します)	(6) 生物多様性への悪影響の防止	報告時 (しました)
⑭	<input checked="" type="checkbox"/>	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める(再掲)	<input checked="" type="checkbox"/>
⑮	<input checked="" type="checkbox"/>	多様な防除方法(防除資材、使用方法)を活用した防除を検討(再掲)	<input checked="" type="checkbox"/>

	申請時 (します)	(7) 環境関係法令の遵守等	報告時 (しました)
⑯	<input checked="" type="checkbox"/>	みどりの食料システム戦略の理解	<input checked="" type="checkbox"/>
⑰	<input checked="" type="checkbox"/>	関係法令の遵守	<input checked="" type="checkbox"/>
⑱	<input checked="" type="checkbox"/>	農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理の実施に努める	<input checked="" type="checkbox"/>
⑲	<input checked="" type="checkbox"/>	正しい知識に基づく作業安全に努める	<input checked="" type="checkbox"/>

- (注) 1. 事業参加農家ごとに作成すること。  
 2. 交付申請時は、事業の対象品目の生産活動において実施する内容について、申請時の□欄に✓又は■を記入すること。  
 3. 実績報告時は、事業の対象品目の生産活動において実施した内容について、報告時の□欄に✓又は■を記入すること